

## 災害リハビリテーション支援について

事務局 災害対策部

例年、梅雨が明けますと、本格的な台風シーズン到来となります。8・9月は、台風の発生数・接近数ともに最も多い時期です。会員の皆さま、台風への備えは十分に行っておられますか。風水害への警戒とともに局地的な土砂災害にも注意が必要です。そこで、災害が発生した際に行う災害リハビリテーション支援について説明いたします。

### 災害リハビリテーションとは

被災者・要配慮者などの災害関連死や生活不活発（廃用症候群）等を防ぐために、リハビリテーション医学・医療の視点から関連専門職が組織的に支援を展開することで、被災者・要配慮者などの早期自立生活の再建、復興を支援する活動の全てをいう。

（一社）日本災害リハビリテーション支援協会:JRAT, 2019 <https://www.jrat.jp/>

### 災害リハビリテーション支援とは

支援として行う災害リハビリテーションには、主に4つの支援があります。

#### ① 公衆衛生支援

トイレ環境と衛生面に関する感染症対策を中心に避難所や福祉避難所のインフラ評価を行います。男女共同参画・多様性配慮（ジェンダー・プロテクション）の観点から更衣室や授乳室の配置および設定を確認します。

#### ② 健康支援

避難者全体の健康を支えていく支援（ポピュレーションアプローチ）です。

保健師と連携して、深部静脈血栓症や生活不活発病の予防、長期的には流行性感染症の予防活動を行っていきます。

#### ③ 回復支援

平時の医療機関や介護保険施設におけるリハビリテーション（理学療法）を指します。骨折や術後の運動器疾患や内部疾患、治療・加療中の避難者が想定されますが、医療資機材や歩行補助具、福祉用具は限定されます。

#### ④ 生活環境支援

基本動作の評価から T（トイレ）・K（キッチン：食事）・B（ベッド：居室環境）の確認・調整を行います。また移動手段の確保として、動線の確認からスロープや手すりの設置も行います。



図 避難所での生活環境支援の例


<p>会 員</p>	<p>□会員向けサービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>地域での会員ネットワークの強化</u></li> <li style="padding-left: 20px;"><u>顔の見える、声の聞こえる関係づくり</u></li> <li>・ 会員が必要とする地域の情報の共有</li> <li>・ 市町村からの依頼に対する迅速な対応</li> <li>・ 郡市医師会など地域の諸団体との連携強化</li> <li>・ 地域での勉強会の活性化</li> <li>・ 業務支援（患者情報のスムーズな流れ）・就労支援</li> <li>・ <u>災害時の被災会員支援</u></li> </ul>	
<p>県 民</p>	<p>□理学療法士によるサービス提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域全体で住民を支える急性期より人生の幕引きまでのシームレスな患者対応</li> <li>・ 地域包括ケアシステムでのサービス提供</li> <li>・ <u>災害時の避難者の二次的障害予防活動</u></li> <li>・ 安心して暮らせる生活支援（スポーツ含む）</li> </ul>	

図 本会災害対策部の役割